

## 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立赤坂台小学校  
校長 大田 圭子

中学校区におけるめざす子ども像  
社会の中で人とつながり、よりよく生きる子

令和8年度 重点目標  
自他ともに尊重し、ともに未来を切り拓く子どもの育成

**「確かな学び」の現状**  
・令和7年度 全国学力・学習状況調査児童質問紙において、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う」に対し、80.4%の肯定的回答があった。しかし、国語、算数ともに「勉強が好きだ」という割合は、66.7%、64.7%と低い。学習の中で「もっと～してみたい!」「こうやってみてはどうだろうか。」という子どもの内面的な衝動に着目し、授業研究、実践することで、子どもたちの学びに対する意欲を育み、学力向上につなげたい。また、基礎学力の定着や自己調整学習の場を整備としてモジュール学習を取り入れる。学校図書館及び児童用タブレットを活用した探究的な活動に丁寧に取り組み、情報活用能力を育む。特別支援コーディネーターを核とした校内支援を進め、誰一人として取り残すことのない教育を推進する。

**「豊かな心・健やかな体」の現状**  
・前年度の学校教育自己診断では「学校に行くことが楽しい」の項目で8割以上の肯定的な回答が得られているが、肯定的な回答ができなかった児童が一定数いることを真摯に受け止め、子ども一人ひとりと向き合った指導を継続して行う。「いじめアンケート」等も活用していじめの未然防止に努め、子どもの道徳性や自尊感情の醸成を図り、豊かな心を育む。さらに、教職員の人権感覚に磨きをかけ、人権教育の基盤を盤石にする。  
・運動能力に関しては、堺市平均値を上回る項目がある一方で、一部 課題のある項目がみられる。体を動かすことの心地よさや運動の楽しさを実感できる学習活動を継続的に実施し、解決を図る。6年生では、赤坂台学校群として連携して体育の授業に取り組む。また、全児童において運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を送ることができるよう家庭との連携を図る。

| 大項目        | 中項目       | 具体目標  | 具体的な取組<br>(●重点とする取組、★中学校区での取組)  | 判断基準<br>(評価のものさし)  | 評価方法                            | 評価時期               | 進捗確認<br>(～12月) | 達成状況(年度末) |         |
|------------|-----------|---|---|--|---------------------------------|--------------------|----------------|-----------|---------|
|            |           |   |   |  |                                 |                    |                | 自己評価      | 学校関係者評価 |
| 確かな学び      | 総合的な学力の育成 | 読書習慣・情報活用としての学校図書館の利用の充実と読書ルームの設置<br>学びの系統性と教科横断的な学習のカリキュラムマネジメント<br>子どもが自ら学びをすすめる授業づくり | 学校図書館を活用して並行読書・調べ学習を行い、探究的な学びの一助とする。<br>●★学校群のめざす子ども像の実現に向けて、小中9年間を見通した教科横断的なカリキュラムマネジメントを軸に、総合的な学習の時間に取り組む。<br>●学びのコンパスを活用した単元計画、授業実践、協働的な学びによる学びの深まりを実感させる。学校群研修を含めた年間6回の研究授業の実施。 | 「読書は好きですか」85%以上<br>「図書館を利用した学習は好きですか」82%以上<br>研修委員会、学校群会議での共有<br>教職員のふりかえり、児童生徒の変容                         | 児童アンケート<br>教職員アンケート             | 年度末<br>年度末         |                |           |         |
|            | 学びの基礎力    | 生きる力のもととなる基礎・基本の学力の定着   | 児童用タブレットを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの環境を整え、授業を行う。<br>基礎・基本と学習習慣の定着<br>・モジュール学習(あかさかタイム)の実施<br>・家庭学習・朝学習(国語)の充実。  | 「ICT 機器を活用することで自分のペースで理解しながら学習をすすめることができる」85%以上<br>学期末テストで、達成度80%以上<br>子どものノートに自分の考えを書けているかどうかから判断する       | 児童アンケート<br>実践報告                 | 年度末<br>年度末         |                |           |         |
| 豊かな心・健やかな体 | 豊かな心の育成   | 「相手に対して思いやりをもった教職員集団 チーム赤坂台」を目標とし、豊かな人間性を育成できる学校づくりをめざす。                                | 子どもに寄り添い、子どもを理解し指導する中で、居場所と出番のある教育活動を行い、子どもの自尊感情を育成する。<br>●特別支援教育、国際理解教育、平和学習、など人権教育の充実。<br>いじめ防止に向け、「仲間づくり」を大切にし、子ども一人ひとりと向き合う学年・学級経営を行う。  | 「自分にはよいところがある」<br>肯定的回答90%以上<br>「友達が困っているときには、自分からすすんで助けている。」肯定的回答90%以上<br>「学校に行くことが楽しい」<br>児童・保護者ともに90%以上 | 児童アンケート<br>教職員アンケート<br>学校教育自己診断 | 年度末<br>12月頃<br>年度末 |                |           |         |
|            | 健やかな体     | 運動に親しむ機会の充実<br>運動する習慣・意欲・能力を高める環境整備<br>早寝・早起き・朝ごはんといった基本的な生活習慣の充実                       | 体を動かすことの心地よさや運動の楽しさを実感し、さらに自己の記録等高みを目指す授業展開に取り組む。<br>基本的な生活習慣の定着に向けた取り組みを通して、健康について考える力を育む。また、保護者に向けた啓発を行う。   | 運動に楽しめる活動設定<br>各授業での体力づくりの工夫<br>早寝・早起き・朝ごはん について<br>肯定的回答 90%以上  | 実践報告<br>生活習慣アンケート               | 年度末<br>年度末         |                |           |         |
| (見守られる学び)  | 安心・安全     | 地域・家庭から信頼される学校づくりを行う。   | 毎月の安全点検、避難訓練等 子どもの安全を守るための危機管理の徹底<br>学校ホームページ等による情報発信<br>緊急時の対応   | 訓練でのふりかえり<br>学校HP充実、校報の充実<br>緊急時の対応周知や情報発信の充実  | 実践報告<br>実践報告<br>学校教育自己診断        | 年度末<br>年度末         |                |           |         |

校長より (年度末)

学校関係者評価者から (年度末)